

311 広域避難当事者の声に耳をすませて

「言葉のかげら」が語る未来

ヒラエスフォーラム2021

2021/2.7(日) 13:00~16:45 (受付12:30~)

オンライン開催

2021年3月11日で東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から10年という社会的な節目となります。ヒラエスでは、これまで避難者一人ひとりの言葉を大切に、2018年から事業を展開して参りました。

今年度は、これまで取り組んできたキャラバン事業において語られ記録した「避難者一人ひとりの言葉＝言葉のかげら」を質的統合法(KJ法)を用いて、避難当事者が抱える本質的な課題を可視化する試みを行いました。

2021年以降、避難当事者の方々の環境は大きく変化すると予想されます。参加して下さる皆さんと共に「新たな支援」「より良い支援」について考える機会として本フォーラムを実施いたします。

募集:定員50名程度 締切:2021年1月29日(金)まで
申込フォーム:URLまたはQRコードよりお申込みください。 <https://forms.gle/fawE4hsW77HLBuNH9>

お問い合わせ:info@hiraeth.work

件名「ヒラエスフォーラム2021」にてお問い合わせください。



<日時>2021年2月7日(日) ※13:00~16:45(受付12:30)

<会場>オンライン形式(zoomを使用)

※お申し込み後、URLをご案内します。

<プログラム>

13:00~ オープニング

13:05~

1 防災から10年の振り返りとヒラエスの歩み

東日本大震災・原発事故を振り返り、HIRAETH(ヒラエス)の発足の経緯や活動についてご報告します。

13:25~

2 「言葉のかげら」から見えた避難者の本質の分析と解説 講師:山浦 晴男先生

2018年、2019年で実施した「わかちあいワークショップ」で避難当事者によって語られた言葉を、今年度、広域避難者支援団体と共に質的統合法(KJ法)を用いて可視化した「見取り図」を作成しました。講師をお迎えして、見取り図の分析と解説を頂きます。

講師プロフィール:1948年長野県生まれ。中央大学卒業。川喜田二郎氏主宰の研究所でKJ法の研究と普及に20年間従事。その後、情報工房を設立。企業・行政・医療機関の人材育成や組織活性化、地域再生支援に携わる。現在、情報工房代表、千葉大学大学院看護学研究所特命教授。著書に「発想の整理学 AIに負けない思考法」(ちくま新書、2020年7月発刊)他。

14:25~

3 「言葉のかげら」を未来につなげるワークショップ

質的統合法(KJ法)で可視化された避難当事者の実態から導き出した問題や課題についてテーマ設定し、防災から10年目以降の「新たな支援」「よりよい支援」を考える機会とします。

16:00~ クロージング

主催・運営:311当事者ネットワーク HIRAETH(ヒラエス)、
特定非営利活動法人 日本NPOセンター
協力:武田薬品工業株式会社

おいしい体験
北海道のうまいもの!!
食べなきゃなんて!!

さから出たら、

北海道のよさを

より知るこになった。

食べもの

タケダ
いのちくらし
再生プログラム

武田薬品工業株式会社

夫との別居
(息子とお父さんを引き
離したことで)が辛い

はなれて

くらす=こに

な

家族との

たけと...